



## Innovation for the Rotary club ローターリーに新風を

12月のロータリーレートは、1ドル=78円

ガバナーからの手紙

炭谷 亮一



### 「来年は経済のV字回復を」

野田政権は消費税を2010年代半ばまでに10%まで引き上げる方針という。理由は、社会保障に関する財源が十兆円余り不足するからと言う。デフレ不況が10年以上続いている今、財源不足はすべての分野に及んでいる。東日本復興への国民の思いを利用して増税を企てるなんてとんでもないことである。

振り返ってみれば、1997年橋本政権は、バブル崩壊後の不況から立ち直り始めた経済をみて、消費税を3%から5%へ引き上げた。その結果3年後には、消費税は4.5兆円増えたが法人税収と所得税収の方は、合わせて7兆円も減ってしまった。財政は却って苦しくなった

ばかりか、今日に至るデフレ不況の発端をつくったのだ。

それ以降も、小泉政権は財政を再建しようと公共投資、医療費、地方交付税などを減らすというデフレ下での緊縮財政をとったため、景気は一向に回復せず、税収不足を埋めようと却って国債を増発する羽目になった。野田政権は、なぜ歴史に学ばないのか。財政再建より景気回復が先なのだ。

リーマンショック後、デフレ不況を恐れたアメリカ、イギリス、EU、韓国では、中央銀行が自国の国債を大量に購入するという非常手段などにより金融緩和、すなわち市中に出回るお金を増やし、政府は景気刺激策を実行し、どうにか急場をしをいだ。

日本政府は、緊縮財政を踏襲するばかりで、日本銀行も思い切った金融緩和をせず、その為、財政は更に悪化し、リーマンショックから3年で米ドル・ユーロ・ウオンに対し三割も円高になってしまった。

今後は、日銀が国債や政府短期証券など20～50兆円規模で引き受け、政府がそのお金で東日本の被災地を中心に全国で大々的に公共投資を展開し、一気に景気を回復させる荒療治をする絶好機である。政府、日銀は毎年貿易黒字、経常黒字を生む勤勉な国民を10数年にわたり、デフレ不況で苦しめるという世界の一大不思議を演出してきた。政府に来年2012年は国民のために経済をV字回復するような経済運営を切に希望する。

### クラブ例会予定 2011-2012年度

- 12/1 年次総会
- 12/8 (木) 特別例会 湯涌温泉 湯の出
- 12/15 平口泰夫様(平口泰夫建築研究所所長)
- 12/22 年忘れ家族例会 於:招龍亭

### 2011～2012

**(役員)** 会長：西村邦雄 エキ：北山吉明 副会長：野城 勲 幹事：魏 賢任 副幹事：宮永満祐美

前会長 藤間勘菊一 会計：竹田敬一郎 SAA：若狭 豊

**(理事)** クラブ管理運営委員長：村田祐一 副：上杉輝子 (親睦：上杉輝子 プログラム：杵屋喜三以満

SAA：若狭豊 ニコニコ：土田初子 友好・クラブ細則：藤間勘菊 奉仕プロジェクト委員長：多田利明

副：後出博敏 (職業：申 東奎 社会：若狭豊 国際：藤間勘菊 ラオスITセンタープロジェクト：炭谷亮一)

会員組織委員長：金沂秀 副：相良光貞 (会員増強修練：二木秀樹)

ロータリー財団委員長：木場紀子 副：江守道子 (ロータリー財団・米山：吉田昭生 年次寄付：西村邦雄)

広報委員会委員長：永原源八郎 副：谷伊津子 (広報：東海林也令子 ロータリー情報：大沼俊昭

会報：石丸幹夫)

常任理事：石丸幹夫

★太字：理事役員

長期姉妹クラブ担当 南光州：金 石丸 申 岩倉 江守巧 村田 東京世田谷中央：炭谷 岩倉 石丸 木村幸生 藤間 京都北東：炭谷 杵屋 水野 高崎：石丸 村田祐一 藤間 宮永

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル2F 〒920-0852 金沢市此花町3-2 T262-2211 F262-2241 (事務局) 相川晶代

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp

ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 10:00～16:00 木 15:00～20:30 休憩時間 12:00～13:00 休日 土日祝日



# 例会便り

632回 特別例会

湯涌温泉 湯の出

2011 12.8 (木) 19:00

出席率 18/38 47.37%

10月の修正出席率 93.92%

## 点 鐘

ロータリーソング  
『R・O・T・A・R・Y』  
四つのテスト

西村邦雄会長 挨拶

先週は、あらばしりの会、地区大会慰労会に参加いただきありがとうございました。より一層会員同士の親睦が深まったと感じました。お世話



話していただいた上杉様、ありがとうございました。今日の卓話は建築家の平口康夫様です。3月まで金大附属高校の同窓会長をされていたのでご存知の方も多と思います。ビジターとして、中島RCの永谷誠行様、百万石RC準会員の香林坊RC小幡謙二様がおいでになっています。

ゲスト紹介 (卓話者) 平口 泰夫 (ひらぐち やすお) 様 (株) 平口建築研究室 所長

ビジターの紹介 中島RC 永谷 誠行 (ながたにのぶゆき) 様 金沢香林坊RC 小幡謙二様



## 《 食 事 》

### 幹事報告・委員会報告



魏賢任幹事： 次の週は年忘れ例会です。沢山出席して下さい。次年度のクラブの理事役員と委員会の組織図ができました。次の理事会に間に合うようよろしくご検討をお願いします。



石丸幹夫会報委員長： 地区大会も済んで1ヶ月も経ちましたが、皆様は各部所で大変活躍された事と思います。苦労話など冊子にまとめたので一人1ページで原稿をお願いします。1ヶ月後にあつめます。



西村邦雄会長： 先日の会長幹事会ではラオス問題が出ましたが、もう少し根回しというか、説明があるのではないのかとの発言のクラブもありました。

### ニコニコBOX

¥15,000- 本年度 ¥320,500- 残高 ¥3,592,010-



中島RC永谷誠行様 はじめて寄せていただきました。今晚は、宜しくお願いいたします。

香林坊RC小幡謙二様 今年も大変お世話になりました。いい勉強をさせていただきました。感謝の一言です。西村会長 平口康夫様、卓話宜しく願いいたします。中島RC会長永谷様、ようこそおいで下さいました。岩倉会員 平口さん、お久しぶりです。本日の卓話楽しみにしています。木場会員 平口様、今日はようこそ百万石へ。建築のお話楽しみにしています。炭谷ガバナー 12月12日(月)に高崎RCへ地区大会のお礼と卓話を兼ねてクラブ訪問に行ってきました。大変な歓迎を受けてきました。高崎RCの会員の皆様の我がクラブに対する熱い思いを感じました。楽しい一日でした。

谷会員 平口先生、今日はお忙しい中ありがとうございます。小幡様を取り持つご縁で福井県会に入会していただきました。今日の卓話を楽しみにしております。藤間会員 平口先生ようこそ。日航での例会は今年今日が最終ですね。水野会員 先週の「湯の出」の例会楽しかったです。上杉様、お世話ありがとうございました。

### 講話の時間

#### 「 作禅一味 」

平口 泰夫 (ひらぐち やすお) 様 (株) 平口建築研究室 所長

講師紹介 谷伊津子会員： 株式会社平口泰夫建築研究室 代表取締役 として、金沢市におすまいです。金沢大学付属高校をでられ、福井大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程を1974年3月修了されました。

職歴 1974年4月～1978年 (株) 五井建築研究所

1979年 汎求理設計工房設立 1980年 建築計画研究室-平口研究室設立 1991年 株式会社平口泰夫建築研究室に社名改称、現在に至ります。 一級建築士 です。

所属団体 社団法人日本建築家協会 (2005年4月～現在) 社団法人石川県建築士会 (1976年3月～現在)

受賞履歴 1984年 旭硝子住宅コンクール 最優秀賞 (今井邸) 1985年 建築作品年鑑住宅部門 最優秀賞 (平口邸+アトリエ) 1996年 (仮称)金津創作の森センター施設プロポーザルコンペコンセプト賞 2001年 第22回石川建築賞 優秀賞 (加藤歯科) 2002年 2002年度グッドデザイン賞 (むさしクロスピア) 2002年 いしかわインテリアデザイン賞 大賞 (橋場バス停ベンチ) 2003年 第24回石川建築賞 優秀賞 (ワトソンハウス) 2008年 いしかわインテリアデザイン賞 大賞 (主計町の廬宅)

専門領域 業務種別 設計・監理 ランドスケープ





**講話：** 建築家には誰でもなれる 欧米では建築家は builder といい、建築従業者の総称である。Builder の主任者は architect 建築士であり、国家資格となる。(国家資格のない国もある。)

それぞれの言語で architect = 建築士を意味する名称は法律の規定で資格者のみが使う事が許され、伝統的には医師、弁護士と共にプロフェッショナル = 公益のために働く専門家、建築士でない建築従業者がアーキテクトを称するのは不相当であり罰せられる。

日本では 建築家は基本的には建築従業者の総称、建築士は国家資格、建築事務所の開設には国家資格は不要、しかし管理建築士の在籍は条件である。国家資格無取得で建築家として業務可能で罰せられない。特定行政庁の確認印が必要。

UIA=国際建築家連合、国家資格者でなくても会員資格、国際的建築設計協議に対応、設計監理。

JIA=日本建築家教会、同上。建築士=技術面、建築家=文化芸術面。設計監理。

### 「作禅一味」(私的造語)

『茶禅一味』という言葉があります。

将軍足利義政棟「茶の心は」村田珠光曰く「茶は遊に非ず、芸に非ず、ただ禅悦の境地なり、」

建築のデザインは専門家の「暗然たる智慧」を基本に「実在性」=自然に備わっていることではなく「恣意的」な行為を加えることの試み。

恣意は需める煩悩の中に沸き立つ。ですから解脱にはほど遠く、禅悦の境地には到達不可能な領域。

それでも「作禅一味」を思い巡らす。

「利休七則」⇔「暗然の知恵」=当たり前前に備わっていること

1. 「茶は服のよきよう」一心をこめる・主客一体感=信頼
2. 「炭は湯の沸くように」=本質を良く見極める=効果
3. 「夏は涼しく、冬は暖かく」=自然の中に溶け込ませる=環境
4. 「花は野にあるように」=自然から与えられたいのち・美しさ=素材
5. 「刻限は早めに」=こころのゆとり=紡ぎだす時間
6. 「降らずとも雨の用意」=適切に場に応じられる=判断
7. 「相客に心せよ」=お互いを尊重=居場所

### 建築家とは

「家」職業や没頭する趣味などから人物をさす言葉

画家・彫刻家・陶芸家・作曲家・など/芸術家⇒「建築家」⇔芸術性

一人称では使わない。「私は建築家です。」など

「屋」一つの家・商店・役者などの一家一族の総称

魚屋・八百屋・お菓子屋・など⇒「設計屋」⇔生活・生業

画屋・彫刻屋・陶芸屋・作曲屋とは云わない。

「士」 建築士=資格称号 弁護士・宇宙飛行士など⇒建築士⇔技術性

又多くの建築例の紹介の他 「脱領域」建築の領分を越えての活動の紹介として 二人展(平口泰夫・平口幸枝)

主計町フォーラム グループ独舞花展等数多くありました。(記事はスライド参照で要略のみにしました) **点 鐘**

### 2012～2013年度 金沢百万石 RC 理事役員・委員会委員長・委員名

<b>会長</b> 北山吉明	<b>会長エレクト</b> 野城 勲	<b>副会長</b> 宮永満祐美	<b>幹事</b> 川きよみ	<b>副幹事</b> 魏賢任
<b>会計</b> 水野陽子	<b>SAA</b> 上杉輝子	<b>直前会長</b> 西村邦雄	<b>常任理事</b> 石丸幹夫	<b>監査</b> 後出博敏
<b>クラブ管理運営委員会委員長(理事)</b> 村田祐一		<b>ラオス</b> ○岩倉舟伊智	炭谷亮一	北山吉明
<b>副</b> 相良光貞	<b>親睦</b> ○金沂秀 多田利明 杵屋喜三以満	<b>会員組織委員会</b> 二木秀樹	<b>副</b> 江守巧	<b>直前</b>
木場紀子 辰己クミ	※(二次会担当)	<b>委員長</b> 金沂秀	<b>増強</b> ○岩倉舟伊智 金沂秀 魏賢任 石丸幹夫	
<b>プログラム</b> ○若狭豊 相良光貞 藤間勘菊	<b>水野陽子</b>	<b>ロータリー財団委員会</b> 藤間勘菊	<b>副</b> 申 東奎	
<b>SAA</b> ○上杉輝子 杵屋喜三以満 藤間勘菊	<b>ニコニコ</b> ○井口千夏 東海林也令子 林克吉	<b>直前委員長</b> 木場紀子	<b>R財団・米山奨学</b> 寄付 ○藤間勘菊 木場紀子	
<b>友好</b> ○魏賢任 竹田敬一郎 西村邦雄	<b>奉仕プロジェクト</b> 竹田敬一郎	<b>年次寄付</b> ○北山吉明	<b>広報委員会</b> 吉田昭生	<b>副</b> 江守道子
<b>直前委員長</b> 多田利明	<b>職業奉仕</b> ○土田初子 多田利明 江守巧	<b>委員長</b> 永原源八郎	<b>直前</b>	
<b>社会奉仕</b> (新世代・青少年を含む) ○武藤清秀	<b>谷伊津子 大沼俊昭</b>	<b>広報</b> ○谷伊津子、永原源八郎	<b>R情報</b> ○木場	
<b>国際奉仕</b> ○宮永満祐美 木村幸生 江守道子	<b>林克吉</b>	<b>会報</b> ○石丸幹夫		

(茶色は理事6名 青色は役員8名 計14名)  
 ※ 二次会担当の他 長期友好クラブ担当とというユニークな係や15周年委員会がある。奉仕委員は3年間とする。